

次世代 VDI
「SecureSoft コンテナ」

高セキュリティを
低コストで実現!

独自のコンテナ技術で情報漏えい対策

ウィンドウズ PC で画期的な分離ソリューションのご提案

- ・導入コストが高い VDI などのソリューションを検討中のお客様に
- ・自治体のマイナンバー個人情報セキュリティ対応に
- ・製造業の CAD データ保護に



セキュアソフト 代表取締役社長

姜 昇旭氏

(カン・スンウク) 東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。2001 年マークエニー・ジャパン設立に伴い、代表取締役社長に就任。02 年セキュアソフトを立ち上げ、代表取締役社長に就任。14 年にはセキュアソフトテクノロジーを設立し、代表取締役社長を兼任。15 年大津コンピュータ代表取締役社長就任、現在に至る。

止まらない情報漏えいに新提案

—— 相次ぐ情報漏えいに関してどのようにお考えですか。

姜 昨年明るみに出た日本年金機構の個人情報流出事件は記憶に新しいと思います。この事件は、職員の業務端末から標的型攻撃により基幹システムからコピーし保存していた大量の個人情報外部に送信されたものです。業務端末をインターネットアクセス専用と業務専用に分けていれば防げた可能性が高い事件でした。このような事件を防ぐために注目されているのがクラウド仮想化です。

—— 確かにクラウド仮想化を検討する企業が増えていますよね。

姜 はい。基本ソフト(OS)やアプリケーションを大規模なサーバー上に置き、クライアントに画面転送して操作する VDI(バーチャル・デスクトップ・インフラストラクチャー)や、ウェブ閲覧する際にクライアントから独自の通信方式を使用し、専用の仮想ブラウザシステムにアクセスするタイプがありますが、導入コストの高いソリューションです。このクラウド仮想化市場において、セキュアソフトコンテナは高セキュリティを低コストで簡単に導入できるソリューションとして注目されています。

—— では、セキュアソフトコンテナはどのようなソリューションでし

ようか?

姜 現在使用中のウィンドウズパソコン(PC)にセキュアソフトコンテナをインストールするだけで簡単に使用できるソフトウエアです。「独自のコンテナ技術」により、ウィンドウズ PC にインストールされているアプリケーションをそのままセキュアソフトコンテナ内で動作させます。OS を含め追加ライセンスを一切必要としないのが特長です。

製品としては、人的要因などによる重要業務データの情報漏えい対策を目的とした「セキュアソフト S コンテナ」、インターネットアクセスによるマルウェアなどの外部からの侵入対策を目的とした「セキュアソフト I コンテナ」があります。

—— 「コンテナ技術」とは何ですか?

姜 1 台のウィンドウズ PC 上でコンテナ環境を生成し、メモリ、ファイル、ネットワークの各リソースとローカル環境を 100% 分離させる領域を作るのがコンテナ技術です。また、分離されたコンテナ環境で作成したデータは暗号化され安全に保存されます。ローカル環境とコンテナ環境間でのファイルの移動や USB メモリーなどの外部メディアの使用も制御します。

今お使いの PC に
インストールするだけで簡単導入!



エンドポイント対策の切り札

—— セキュアソフト S コンテナについて教えてください。

姜 既存のウィンドウズ PC 上でコンテナ環境とローカル環境を 100% 分離させ、コンテナ環境で扱う重要業務データを完全に隔離し情報漏えいから守ります。ウィンドウズ PC のリソースをそのまま使用して動作させるため、VDI のような画面転送方式が不得意とする CAD などの重いアプリケーションを快適に動作させることが可能です。また、ネットワークから切り離されたオフライン状態でも使用可能です。

—— それでは、セキュアソフト I コンテナについてはどうですか?

姜 既存のウィンドウズ PC 上でインターネットアクセス専用のコンテナ環境とローカル環境を完全分離します。そのため、仮にインターネットアクセスによりコンテナ内にウイルスが入り込んだ場合でも、ウイルスをコンテナ内に封じ込め、初期化機能によりローカル環境への影響を与えず完全に除去し重要データを守ります。

また、インターネットアクセスのために専用の仮想ブラウザシステムを構築し、画面転送をする方式とは違い、既存のウィンドウズ PC にインストールするだけで高セキュリティを簡単に

低コストで導入できます。

—— セキュアソフトコンテナはどのようなお客様に適していますか?

姜 セキュアソフト S コンテナは、開発設計業務で CAD などの重いアプリケーションを利用している企業、VDI などの高価なインフラコストが発生する画面転送方式での予算化が困難な企業や自治体向けに適しています。セキュアソフト I コンテナは、総務省が提示する「自治体情報システム強靱性向上モデル」に準拠するネットワーク分離を検討している自治体、ルール上通常業務 PC のインターネットアクセスを制限されている企業に適しています。

—— 最後に、セキュアソフトからのメッセージをお聞かせください。

姜 当社は 2002 年の設立以来、不正侵入を検知・防御するアプリケーション製品を提供し、国内の IPS(不正侵入防御システム)市場では 12 年度から 3 年連続トップシェア*を獲得しています。このたび、ネットワークセキュリティ対策に加え、コンテナ技術を利用したエンドポイント(端末)の情報漏えい対策ソリューションを開発したことにより、総合セキュリティパートナーとしてお客様の要望にお応えしていく所存です。

*2012 年度から 3 年連続でトップシェア(金額)を獲得(富士キメラ総研調査及びミック経済研究所調査より)

セキュアソフトコンテナのお問い合わせはこちらから!

TEL 03-5464-9966
E-Mail : sales@securesoft.co.jp
<https://www.securesoft.co.jp/>

securesoft

広告